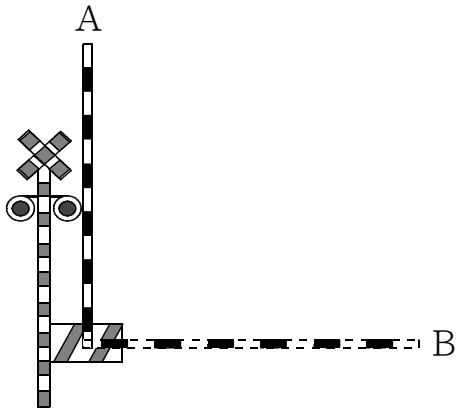
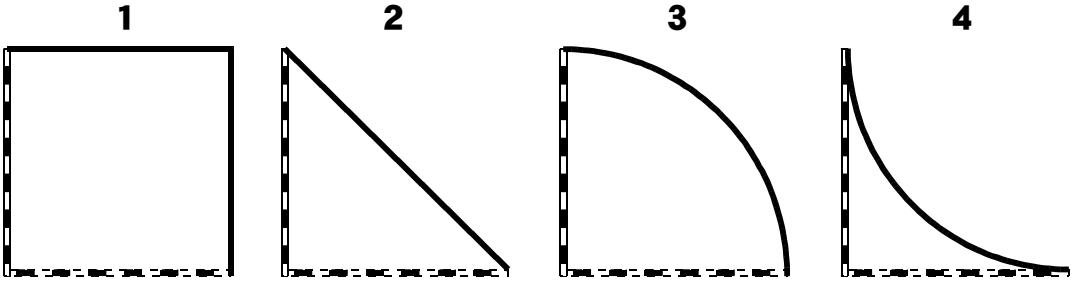
学習日　　月　　日

２３	「正多角形と円」 しゃだん機	年　組　番 名前（　　）

ひろしさんは、ふみきりのしゃだん機が、下の図のようにＡからＢへとたおれるときに、しゃだん機の先がどのように動くのかを考えました。



（１）しゃだん機がＡからＢまで動くときの、しゃだん機の先の動きを正しく表している図を、次の **1** から **4** までの中から１つ選んで、その番号を〇で囲みましょう。



（２）図のしゃだん機のぼうの長さは５ｍです。しゃだん機がＡからＢまで９０度の角度で動くとき、しゃだん機の先のえがく線の長さは約何ｍになるでしょう。答えは１００分の１の位を四捨五入して求めます。

考え方

答え　約　　ｍ

ここから下は先生がチェックをします。（どちらかあてはまるほうに必ず☑）

□　自分の考えを分かりやすくかけています。より分かりやすくかけるように努力しよう。

□　自分の考えをかこうとがんばっています。その態度がすばらしい。つづけよう。